

(様式1)



山口市

報道資料

令和5年12月11日

| | |
|---------|--|
| 1 件名 | 鑄銭司・陶むかし講座エピソード7の開催について |
| 2 日時 | 令和6年2月18日(日曜日) 13:00~15:00(開場12:30~) |
| 3 場所 | 陶地域交流センター会議室1・2 山口市陶2595番地 |
| 4 内容 | <p>国指定史跡の「周防鑄銭司跡」や「陶窯跡群」をはじめ、山口市内の遺跡で出土した土器などの胎土(材質)を科学的に調査することで、当時のモノやヒトがどのような動きをしていたか、生産と流通の実態に迫ります。</p> <ul style="list-style-type: none">・講師 白石 純 先生(岡山理科大学教授)・演題 「胎土分析から何がわかるのか ー鑄銭司・陶出土土器の分析を中心にー」・会場 陶地域交流センター会議室1・2・主催 山口市教育委員会 <p>聴講無料(要事前申込・定員80名)</p> <p>申込方法などの詳細は、別添のチラシを参照ください。</p> |
| 5 出席者 | |
| 6 問い合わせ | 教育委員会事務局 文化財保護課 (担当:北島・舟山) TEL 083-920-4111 |

胎土分析から 何がわかるのか

— 鑄銭司・陶出土土器の分析を中心に —

令和6年2月18日(日)

13:00 ~ 15:00 (12:30開場)

要事前
申込

聴講
無料

定員
80人

国指定史跡の「すおうのじかせんし周防鑄銭司跡」や「すえかまあとぐん陶窯跡群」をはじめ、山口市内の遺跡で出土した土器などの胎土(材質)を科学的に調査することで、当時のモノやヒトがどのような動きをしていたか、生産と流通の実態に迫ります。

講師

岡山理科大学教授 白石純先生

専門は考古理化学。土器や陶磁器・石器などの考古遺物を科学的に調査することで、当時の生産や流通の実態解明に取り組む。岡山県の備前焼をはじめ、山口市の周防鑄銭司跡や陶窯跡群・大内氏関連遺跡などでも豊富な研究実績をもつ。

主要著書・論文は「科学調査によりわかる備前焼播鉢の流通」『備前焼を科学する』共著、「史跡周防鑄銭司跡出土遺物の胎土分析」『史跡周防鑄銭司跡』共著など。

会場

陶地域交流センター 会議室1・2 (山口市陶2595番地)

応募方法

氏名・住所・電話番号 を記載の上、応募フォーム、ハガキ、FAX のいずれかの方法で、1月31日(水)までにお申し込みください

応募フォーム : <https://logoform.jp/form/XCim/430709/> (右記二次元コード)

F A X : 083-920-4112

宛 先 : 〒753-0073 山口市春日町 5-1



応募多数の場合は抽選となります。抽選の要否にかかわらず、2月上旬に応募者全員に申込みの結果をお知らせします。

問合せ

山口市教育委員会 文化財保護課

TEL:083-920-4111 FAX:083-920-4112 Eメール:bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp